

# 議会活性化 特別委員会会議録

令和7年3月6日(木)本会議終了後  
小美玉市役所 3階 議会委員会室

小美玉市議会

# 議会活性化特別委員会

日 時：令和7年3月6日（木）

本会議終了後

場 所：3F 議会委員会室

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 協議事項

1) 議会報告会（意見交換会）について

2) その他

4 閉 会

### 出席議員（10名）

- |     |            |     |            |
|-----|------------|-----|------------|
| 1番  | 鬼田岳哉君      | 2番  | 宮内勇二君      |
| 3番  | 戸田大我君      | 4番  | 内田和彦君      |
| 5番  | 山崎晴生君      | 6番  | 真家功君（副委員長） |
| 7番  | 香取憲一君      | 10番 | 鈴木俊一君      |
| 11番 | 村田春樹君（委員長） | 13番 | 谷仲和雄君      |
| 14番 | 長島幸男君（議長）  |     |            |

### 欠席議員（なし）

---

◇

#### 議会事務局職員出席者

- |    |         |
|----|---------|
| 局長 | 長谷川 勝彦  |
| 次長 | 須賀田 千恵子 |

午後3時14分 開会

### ◎開議の宣告

○副委員長（真家 功君） それでは、本会議終了後ということで、お疲れさまでございます。ただいまから、議会活性化特別委員会を開会いたします。

まず、村田委員長挨拶をお願いします。

○委員長（村田春樹君） 皆さま、お疲れさまです。一般質問に引き続きまして委員会ということで大変お疲れのところだと思えますけれども、議会活性化特別委員会のほうで、意見交換会のほうをやっていきたいと思えますので、ご協力のほどよろしくお願いたします。

○副委員長（真家 功君） それでは、協議に入ります。

協議の進行については委員長よろしくお願いたします。



### ◎協議事項

#### 1. 議会報告会(意見交換会)について

○委員長（村田春樹君） 本日の関係資料につきましては、スマートディスカッションに保存されていますので、準備のほうよろしくお願いたします。

それでは、協議事項に入ります。

協議事項、議会報告会（意見交換会）についてを議題といたします。

まず、意見交換会のテーマ案ということで、つくらせていただきました。これ取り敢えず案なので。おみたまっ子応援パッケージを例として挙げる場合に、おみたまっ子応援パッケージのほう皆さん中身いろいろと見て、先ほど谷仲議員の一般質問にもありましたけれども、皆さんご存じだと思うのですけれども、6つのステージに分かれているものでございます。

出会い、妊娠・出産、就学前、小学校、中学生、高校生・大学生の6つのグループに分かれていて、それぞれのテーマについて意見交換をするということで、案として出してはみたんですけれども、少し詳しく言うと、例えば受付けの際に来てもらった方に ABCDEF のどれか好きなものを選んでもらうと。一応定員はあるので、来た順に選んでもらうんですけれども、選んでもらったらワールドカフェ方式なので最低3ターンあるので、3回は移動できるので、自分の好きなものいろいろお話、意見交換できるのかなというふうに考えて、こういった案にさせてもらいました。その下のほうを見ていただくと1ターン20分の意見交換、休憩を重ねて10分間で別のテーブルに移動していただくと。議員はファシリテーターとかやっておりますので

交代ということで、2ターン目が自己紹介を含めて20分間の意見交換、さらに休憩を重ねて10分間で移動。移動したことのないテーブルのほうへ移動していただいて、3ターン目自己紹介を含め20分間の意見交換。最後に一番最初の席に戻り20分の意見交換をして、その成果を発表していただくというような流れにしたいと思っております。これは1案ですけども。

次が第2案のほうなんですけども、常任委員会と子育て支援や、子どもたちとの関わりについてということで、例えば総務常任委員会の中で、子ども関係いろいろ委員会の中でこれは決めていただきたいと思うのですけども、子どもの避難所での過ごし方改善について、そのテーブル内のテーマとして話していただく。その他にもいろいろあると思うんですけど一応例えなので。文教福祉常任委員会のほうでは子どもの福祉についてとか、あとは各学校の子どもたち環境改善についてというような形。

もう1つは、産業建設常任委員会の中で通学路の街路樹についてとか、子どもたちの農業体験、職場体験とかそういったものを各常任委員会2テーブルをつくっていただき、市民のひとの常任委員会に沿ったテーマを選出していただき、ワールドカフェ方式で意見交換を行っていただく。流れとしては、先ほど話とおみたまっ子応援パッケージの流れと同じ形、最終的には成果を発表していただくような形です。

1と2どちらも発表者は共に参加していただいた市民に行っていただくような形になるかなと思います。この第2案のほうだと、常任委員会ごとに分かれているので、3回テーブル移動するということになれば、全ての常任委員会の意見交換ができるのかなというふうに思います。こういった中で、第1案の2ページ目のほうですけども、この前1月25日に行って来たつくば市のを参考にさせてもらったんですけども、例えば発表例として小学生が〇〇できる△△になって欲しいみたいな形で、いろいろどうということなのというところで小さい丸の部分、子どもたちが遊べる公園の整備とか、子どもたちの通学路の安全確保とか、子どもたちの給食費無償化、無償化のほうは来年度からあるでしょうけれども、その他にもということで書いてあります。左側に市民でできることは何かなということでいろいろ話し合っ、意見交換してもらってその部分に書いてもらって、右のほうには市で行ってほしいこと、こういうことをやってほしいよということがあれば書いていただく。最後は下のほうに白く大きく空白があるので、そこにまとめとして今回ワールドカフェ方式でそのテーマに沿ってやってきたことに対してのまとめの部分として、何か書いていただければというふうな形で考えております。

説明は以上なんですけども、皆さんのほうで何かご意見があればお願いします。

**○副委員長（真家 功君）** 2パターンあるということですね。

**○委員長（村田春樹君）** そうですね。2パターンあるので、どちらか例えば1つに絞らなければいけないと思うので、もし他にも第3案があるよというのであればその話もしていただければと思いますし、この1か2どちらかでもいいですし、実際に市民の人が様々な常任委員会に関するテーマを話せるとすれば2案のほうがいいと思いますけれども、子育てという形で限定的に考えていくのであれば、おみたまっ子応援パッケージの中からのテーマのほうがやりやすいでしょうし、いろいろとテーマも決めやすいのかなと思うんですよね。各常任委員会ごとのテーブルとなるとすれば、6月定例のときの常任委員会の中でテーマになるようなもの、いろんなことが考えられると思うので、そういったものを常任委員会で想定案として考えておいてもらうというのも必要になりますので、どちらかという第2案のほうは面倒くさいかもしれません。第1案の中でやるとしたら、例えば出会いのテーブルになった方は、婚活イベントと結婚相談支援、いばらき出会いサポートセンター登録料助成というこういったものが応援パッケージにあるので、これについて意見交換してもらうような形。妊娠、出産となれば不妊治療助成、妊産婦タクシー利用料助成、伴走型子育て支援、子育て応援交付金、出産祝金、子育て世帯家事支援サービスこれは就学前とかも含まれていますので。あとは子どもの医療費完全無償化も高校生までとなっていますので、これも多岐に渡りということで、子ども家庭センターも包括相談支援もそうですね。なのでいろいろとそのテーブルによって中々テーマというのは絞られてきちゃうのかなと思うのですが、意見交換していただいて、こういったものが逆にあったらいいよね、こういったものが足りないからやってもらいたなというテーマでやってもらってもいいのかなというふうに感じています。

香取委員。

**○7番（香取憲一君）** わたしの感想なんですけど、こういうワールドカフェでやるのも我々もはじめてですし、市民の皆さんも来ていただくというだけで有り難いと思うんです。なのでこの2案についてはよくわかるんですけど、わたしの感想はこの2案というのは、1歩進んだところの枝葉の部分なのかなと思います。どういうことかという、その前の段階で我々が今回やろうとしている意見交換会でまず一番最初に二元的なもので、どういうところから皆さんに議会を感じて欲しいのか、お互いはじめてでこういう形でやるから、まず市議会に対してどうですイメージみたいなそういうところから入って行って、皆さんそういうイメージの中なんだけど、実際我々と話してみてもこんな感じですよというところで、そこから具体的に入っていったほうが。常任委員会云々と言っても市民の人はよくわからないと思うんです。吸い上げた意見の結果が議会のシステムはこうなので、それを今皆さんの意見を吸い上げるため

に、3つの専門部会に分かれているので、今の意見はこの委員会であげるようにしてきましようというほうがお互い分かりやすいのかなと、非常にソフトに入っていけるんじゃないかなとわたしは感じているんですけど、わたしの意見です。

**○副委員長（真家 功君）** 具体的なテーマの前にという。

**○7番（香取憲一君）** それを、まずは最初にソフトランニングじゃないですけど、いきなりこのテーマではじめましょうではなくて、応援パッケージについてどうしようと言われても多分みんな構えちゃって、その前段階でまず膝を突き合わせているわけだから、もちろん自己紹介も入ってますけど、そういう中で我々の思いも含めて、もうちょっとフランクな感じでテーマを最初に皆さんに共有できるようなテーマをもっていったほうが、わたしはいいんじゃないかと思ったんですけど、皆さんどう思ったかなと思って。

**○委員長（村田春樹君）** 今回1月25日に見てきたつくばの市議会の受付の中では、各常任委員会の札があって、常任委員会とはこういったことを話しますよという案内じゃないですけど何かこういったものですよというものが書いてあって、市民の人は自分はこの委員会のもの言ってみようかなみたいな感じで選んでテーブルについて自己紹介をして、そこから和気あいあいとやっていたところもあるので、最初の例えば受付段階のところはどういったことをお聞きしたいですか、どういったことを話たいですかという形でやって行けば、自分は例えば福祉関係のこと聞いてみたいから文教福祉にとか、そういった形にも誘導できたりとかするのかなと思うので、やり方次第なのかなと自分のほうは考えております。

香取委員。

**○7番（香取憲一君）** つくばのときは、最初から受付の段階で常任委員会は分かれていたんですか。

**○委員長（村田春樹君）** そうです。

**○7番（香取憲一君）** わかりました。

**○委員長（村田春樹君）** 谷仲委員。

**○13番（谷仲和雄君）** 多分来場にみえる方とかは、所管が総務とか文教とか産業とかそういうところではなくて、今回のテーマ、おみたまっ子応援パッケージの中でやりますという中で、それでそういう切り口のほうの方がもう自然だと思います。それで、あとよくはじめに多分そういうテーブルごとで自己紹介とかしていく中で、自己紹介をとおして打ち解けていくような雰囲気になるのかと思います。そこら辺のその場の温め方というのを今度ファシリテーター研修の中でポイント的なところをしっかりと押さえとけば、なるべく自然な流れというほうが来

た方も入りやすいのかとそういうイメージで捉えてますけども。

あともう1つは、来場の方は所管の委員会がというところの視点はあまりないと思います。そういうところですよ。

**○委員長（村田春樹君）** そうすると来場者の方のことを考えると、おみたまっ子応援パッケージという形で、最初の受付段階のところでは出会いとか妊娠・出産とかそういったカードを並べといて、小学生のやついろいろ話したいから小学生テーブルに行きますとか、そういった形のほうが話しやすいのかな。

戸田委員。

**○3番（戸田大我君）** 対象の年代というか、それはPTAとかでしたか、対象に誘うというのか。

**○委員長（村田春樹君）** 委員会の中でも話していたように、PTAとか育成会とか、そういった方々、あとはそれでも人数難しそうだなという場合にはこの委員会の中で、子育て関係で話をしたいという人がいれば何人か呼んでいただいて、最高35名でテーブル7にした場合が35ですか、そこら辺会場の人数最終的に流動的ですから、こんな人数って多分決めてもそれ以上にもしかすると来ちゃう可能性もあるし、それ以下になる可能性もあるので、だいたい最高で35ぐらいかなとは考えているので、そのような感じです。

戸田委員。

**○3番（戸田大我君）** おみたまっ子応援パッケージについてやるとすれば、まず、おみたまっ子応援パッケージはこういうものであるよというのは説明するわけですよ。説明をして、それについて意見交換を皆さんとしていくんですよ。今小学生の給食費無償化になりました。今日の質問にもありましたけども、じゃ幼稚園とかはならないとか出てきたりとか、医療費のこととかいろんなことが、まず説明をしてそのあとに意見交換をしてもう少しこうしてほしいんだよとか、通学路を安全にしてほしいんだよとか出てきそうなイメージがあるんですが、そういったことについて意見が出てきたら、議員はわかりましたそれはそういう意見があったのでありがとうございます、それを今度の定例会のときに、委員会でそれを反映してみましようとか、そんな流れですか。

**○委員長（村田春樹君）** そんな流れですね。実際最初のおみたまっ子応援パッケージのテーマ案の2ページ目のほう、発表例のほうを見ていただければと思うんですけども、そのテーマのところ、幼稚園、保育園で給食が無償化にできるようになってほしいとかそういったことで、例えばどうしたらいいのというところで黒丸のところを皆さんでいろいろ話し合っ

いただいて、その中でどういうふうにしたらできるのかというのをみんなで市民の人と話していただいて、ただただ議員が一方的に意見を聞いて、それを全部行政に持っていきますというわけじゃなくて、お互いにどういうふうにやったらできるかというのを考えながら、明るい未来をつくっていけるような意見交換の場になってほしいと思いますので、そういったところファシリテーター研修の中で、いろいろ引き出す能力、そういったものも見に付けれるのかなと思いますので、最終的にはこの発表例のほう、市民の方に発表してもらうんですけども、最終的にはそれを議会のほうに持ち帰って、執行部のほうに渡していけるような流れかなと思っています。

戸田委員。

**○3番（戸田大我君）** ありがとうございます。おみたまっ子応援パッケージってどうしても予算が関わってくると思うんですね、質問の想定されるものって。第2子保育料が無料なんだ。聞けば第1子もやってよ、先ほどの給食費無料で、奨学金もそうだよねとかお金のことが関わってくるので、これってじゃどうしたらこれが実現になりますかってみんなで話し合っても結局予算の話なので、予算をどうやったらもってこれますかとなると、これは市役所の職員の話になるのかなと思うんですね。執行部の話だから難しいので補助金が出てきたらこうですよとか、そここのところでどうやったらおみたまっ子応援パッケージについて広げていくかという、執行部にこれ言うしかないよねとなっちゃうと思うんですけど、どうでしょうかね。どういうイメージなんですか。

**○委員長（村田春樹君）** そうですね。あくまで、市民に対して予算云々とか議会議員の立場としてみれば、これは難しいよねという内容かもしれませんが、意見交換なので、市民の意見を聞くことがまず第一なわけです。予算とかそういったものではないとわたくしは思っております。市民の意見をどういうふうに思っているのか、それを吸い上げて最終的に予算とかいろいろ関わってくるかもしれないけれども、そこと執行部と追いつきを付けていくのが我々議員なので、まずは市民の意見を聞く、聞き流らさない、どんな声でも聞けるような体制、これ予算かかるからダメだよとかそういった否定的な意見を市民の方に言ってはいけない、全て聞いてあげて持って帰ってそれを橋渡しするのがわたしたち議員の役割だと思うので。

戸田委員。

**○3番（戸田大我君）** わたし言っているのは、委員長が言っている意味は前提として理解しているんですけど、どうしても想定としておみたまっ子応援パッケージをやっちゃうと、それはお金の話になってきますよね。これを拡充してほしい、他の意見もいろいろ出てくると思

うのですが、結局この項目についてお金がもう少し欲しいなと言ってきて、そこでどうしたらできるかという流れ、方法にしちゃうとどうしたらと言ってもお金の話だよ。ふるさと納税を増やしてやりましょうとか、来年度からは国が給食費無償化していくから1億3,000万円使うとそれでできるかなとかそんな話は結局執行部の話なので、議員としてはこれを提案しましょうとなるので、だからイメージがお金の話どうやったら、グループワークですか、やっでどうやったらお金できるような話、それが見えない気がします。

**○委員長（村田春樹君）** 山崎委員。

**○5番（山崎晴生君）** 戸田議員言うように、おみたまっ子応援パッケージ自体がもう制度化されて予算ついているものなので、市民からしたら例えばAからFに関してのグループ分けをすとしても、このおみたまっ子応援パッケージの内容を話し合いましたと既に事業化されて予算付いているものだから、これも市民の意見だったり、議員からの提案だったりということでは全部事業化されているものだと思うので、ここにはないもの、出会ったなら今おみたまっ子応援パッケージでこういうことやっているけども、他に何かないのかなというものじゃないと、この題名自体がおみたまっ子応援パッケージになっているので、これは中々深読みづらいというのは正直な話これは話し合うとどうしても戸田議員が言うように、これ中々イメージ皆さん、これもう事業化されているものをどうやってみんなで話そうねという話しになっちゃうので、生活上とか実際に年代のお子さんを持つ親御さんがどういうふうなことで困っているのかとか、どういったものこういうふうにしてほしいなというものがあれば、それでおみたまっ子応援パッケージがこういうのもやっていますよという気づきになれば別にいいと思うんですけど、このパッケージ自体話し合うと多分中々話が膨らまない意見交換会になってしまうかなというのが意見です。

**○委員長（村田春樹君）** 香取委員。

**○7番（香取憲一君）** 今のお二方の意見を聞いてもなるほどなと思うのですが、故に先ほどの冒頭の話になってしまうんですけど、最初は導入の部分で例えばテーマは導入するについてわたしの考える小美玉市、わたしは今小美玉市についてこう思っていますとか、小美玉市のいい所こういう所ですか、足りない所こういう所ですからというふうにして、今思っていることをまず吐き出してもらおうという言い方は変かもしれませんが、そういうところからはじまらないと、中々今の話になっちゃうんじゃないのと思いますけどね。

**○委員長（村田春樹君）** そしたら細かいそういったテーマを付けずに、今香取委員が言ったように、市民の人を呼ぶ広告をつくるとして、わたしが今思う小美玉市は〇〇ですみたいな

感じで、何か皆さんがいろんな意見。

**○7番（香取憲一君）** 導入の部分。結果としてこれは出てきますよ。応援パッケージこういうのがあって、こういうことがあるんですけどというふうにして、必ずそういうところには繋がっていくと思うんですけど。ただそこを引き出してくるところがお互いはじめてなんだから、もっと回数を重ねていけばずばりずばりって我々も慣れてきてあれなのかもしれないですけど、最初は探り合いじゃないですけどね。議員さんってこんなに話しやすいの、こういうふうに話せるんだってというふうに思ってもらえるところからだとわたしは思うんですけどね。

**○委員長（村田春樹君）** 実際うまくテーブル分けしないとワールドカフェ方式として中々難しいような気がするので、何か分けられるものと考えたら最終的にどういう形になってくるんだろうとなってくるんですけど。そうすると、おみたまっ子応援パッケージだと先ほど言ったような。

**○副委員長（真家 功君）** テーマが具体化すぎる。

**○委員長（村田春樹君）** あるんで、常任委員会ごとの形のテーブル分けという形で常任委員会の中で、各常任委員会に沿った子育て関係のテーマを洗い出ししてもらおうような形のほうが。

谷仲委員。

**○13番（谷仲和雄君）** いろいろ皆さんの貴重なご意見を踏まえて、それでさっきもうパッケージとして制度化している以外のところで新しい視点をというところ。参考になるかどうかかわからないですけども、新まちづくり構想の構想策定の委員会がありました。その構想の策定は、市のほうでこういう構想を皆さんどうでしょうということに対して、ああしたらいいね、こうしたいいいねというところの話のやり取りなんですけども、そのところでわたくしが確認したのは、財源を伴う上での話のやり取りかというときには、財源のことは今回の構想の策定のここの会議では話さない。そういうところでパッケージで制度化をして今予算関連やっています。先ほど山崎議員のほうから言われた、その制度の中に入っている違うところの新しい視点とかそういうのを拾ってあげればいいのかと。あとはここの発表例で何々できるようになってほしいというようなところで、ここで市民でできることを市でやってもらいたいこと、こういう分け方がいいかと思えます。そういう新しい視点というのがあるのかなどうかな。そういうところをいろいろ拾ってあげればいいのかと今話を含めると思いましたね。あくまでも議会というのは執行機関ではないので、ここの予算を増やすとか減らすというような話に

はならないですけども、テーマとしてパッケージ。パッケージが制度化した中で、皆さんいろいろどういうふうに思っているかというような話は聞いても無駄ではないかなと思います。あくまでも議会でどうやるとは言えないので、そのまとめ方のところはあくまでも、わたしたちがやりますというよりは、まずはもらった意見を今度委員会でしっかり、多分所管に分かれるような形になるかと思うので、委員会でしっかり話し合いをして、市のほうに議会として届けるものと、あとはそこら辺の精査をしていくような順番になっていくのかとは思っています。そうすると、今どういう形で進めていくかということに関しては、制度化されている中で新しい視点とか、そういう意見を集めていければいいのかなと。そういう捉え方だと思うんですけども。あとは皆さんいろいろ意見を併せながらいければと思います。

**○委員長（村田春樹君）** 一人一人聞いていきたいんですけど、例えばテーマ案の1のほうでおみたまっ子応援パッケージと書いてありますけど、おみたまっ子応援パッケージじゃなくて、ただ普通に子育て支援としてこれからの子育て支援とかいろんなテーマはあるとは思っていますけども、そういった形にしてAからFの6つのグループという考えでも全然いいと思うので、いろいろ応援パッケージのさらなるプラスでもいいですし、応援パッケージにこだわらなくてもいいですって形で皆さんのほうで一人一人意見出してもらえればなと思うので。

鈴木委員。

**○10番（鈴木俊一君）** わたしは1案のほうの話やすいかと思ったんです。わたしたちとしては委員会ごとに分けてやったほうがやりやすいと思うんですよ。だけど来てくれた人にとってはそれぞれのライフステージにおいてのテーマを決めて、出会いとか小学生とか高校生、実際に高校生、大学生を呼んでもいいと思うんです。率直な意見を出して最終的にはこういう意見が出ただけでいいと思うんです。それを最後に執行部に求めるじゃなくて、こういう意見が出ましたというのをみんなで成果発表でまとめられればそれがゴールでいいかなと思っているので、ちょうど6個、ABCDEFで6テーマぐらいで話をどれか選んでやってもらって、これは参考資料で出しておいてもいいと思うんです。わたしは小学生の子ども持つ母親ですとか父親ですという感じで、こういう感じで香取さんが言っていた今はこういうふうに小美玉について思っていますという話しをして、それを発表のときに入れてもいいと思うんです。こういうふうに思ってるよと。小美玉いいところがあるよとか、こうしてほしいよというのを入れてもらいながら、それぞれのライフステージにおいて、こういうふうにやると小美玉がもっとよくなるんじゃないかというような話し合いをそれぞれのライフステージにおいて、勿論このテーマでもいいし、これ以外でも意見あってもいいのかと思うので、そういう形でまとめれば

いいのかなと思います。

○委員長（村田春樹君） 内田委員。

○4番（内田和彦君） 今のおみたまっ子応援パッケージということで出ているんですが、ある程度のテーマは決めないと話がまとまらなくなっちゃうので、一番は市民の方にしゃべってもらおうというのが一番なので、このやつでいくと出会い、妊娠・出産と1個1個ずつだと単発で話が終わっちゃうみたいな感じなので、出会いから出産までみたいなイメージ、こういうのが流れに沿ったテーマとか関連したというような。これだけじゃないんですけども、何かテーマを決めてやるにしろ、単発ではなく流れに沿ったというような、ある程度先を見越したようなことで話し合いができればいいかなと思います。

○委員長（村田春樹君） 宮内委員。

○2番（宮内勇二君） わたしもさっき鈴木議員のほうからあったように、1案のほうで、さっきのフリートークじゃないですけど、自由討論で無理難題も出てくるかとは思いますが、フリートークでいろんな意見を出してもらって吸い上げるというような形がいいと思います。

○委員長（村田春樹君） 鬼田委員。

○1番（鬼田岳哉君） 先ほどのいろいろ皆さんの意見を伺って思ったことが、基本条例の7条に、市民に対してより開かれた議会を推進するために行いますよと載っておりましたので、難しいことを第1回やるよりも、小さな成功を目指すために、例えば市民が市議会に関心を持つには投票率50パーセントを目指すにはみたいな形で、我々の中である意味執行部を交えず完結できるテーマにしたほうが初回のほうが良くないかと思いました。翌年度パッケージやるんだ、成功した翌年もう少し拡充していくんだという形で、委員会として成功を求めるのであれば、入りやすくて成果が上がりやすいことに切り変えていったほうがいいんじゃないかなとわたしは1案で思っております。

○委員長（村田春樹君） じゃこれじゃなくて第3案みたいな。

○1番（鬼田岳哉君） 第3案という形で。

○委員長（村田春樹君） ありがとうございます。

真家副委員長。

○副委員長（真家 功君） わたしも今ずっと皆さんの意見を聞いていて、戸田議員、山崎議員が言ったように、おみたまっ子応援パッケージという具体的すぎる事業名をやるよりは、やっぱり子育て支援とか、もっと大きなその中で話しているうちにこのおみたまっ子応援パッケージはこういうふうにするんだよとかと説明できるように、具体的な事業名じゃなくてもう

少し大きな題とか、今鬼田議員が言ったようなテーマとか、いろいろ幅広く考えたほうがいいかなとわたしは感じました。

**○委員長（村田春樹君）** その他で大丈夫ですか。

香取委員。

**○7番（香取憲一君）** すみません確認で、1.おみたまっ子応援パッケージのページのほうなんですけど、A 出会い、妊娠・出産と3つあって、議員がそれぞれテーブルに分かれますよね。そうすると例えばこのAの出会いというテーブルだったら、議員さん固定だから出会いのテーブルにその議員さんはずっと終わるまでいるということですよ。

**○委員長（村田春樹君）** そうですね。

**○7番（香取憲一君）** わかりました。

**○委員長（村田春樹君）** ひとつ足しますけどもまだ案なので、ここで今決まりというわけではなくて、ここから例えば子育て支援についても2案のやつみたいに常任委員会ごとに分かれなくて、おみたまっ子応援パッケージみたいな形でほしい6つ、7つぐらいテーブルをつくっていった中で話し合いができればというふうな形の例えとしてのおみたまっ子応援パッケージだと思ってもらえれば、こういったことで話せるようなテーブルを6つつくりますよ、7つつくりますよというような例えなので、絶対的におみたまっ子応援パッケージではないということです。

取り敢えず話を聞いていくと、ほしい1案のほうでやるような形で進めていくような、おみたまっ子応援パッケージでなくても子育て支援として各テーブルをつくって市民の方と意見交換をしていくような流れ、こういった形でやっていくということで。

戸田委員。

**○3番（戸田大我君）** ごめんなさい何度も。おそらく目的は市民の参加する方は議員に対して何か期待しているとか、議会ってどうなんだろうとか、議員さんに言ったらやってくれるのかなとかくと思うんですよね。議員としては何を目的にするのかというと、市民が議員に話しやすいとか、意見言いやすい、聞いてくれたとか、そのあとちゃんとそれが実行できなかったとしても、みんなで話し合ってくれたとか、そういった進捗状況がわかった、返すと思うんですけど、そういうことだと思うんですよね。だからこのテーマが大切なんだ、このテーマについて話し合うことが目的なんじゃなくて、議員と市民の触れ合いで議員に対していいイメージを持ってこれからも議員にいろいろ頼れるなというようなことが目的にすれば、テーマはなんでもいいと思うんです。ある程度絞ったほうがいいと思うんですけど。そういった視点

でやれば戦略的にできると思うのですよね。話を聞いてこういうふうにしましょう、議会で委員会でもこれみしました。それを返して執行部に言いましたとか、そういうふうにやれば次の鬼田議員が言ったように、来年に繋がったり、谷仲議員が言ったようにどうやって委員会に割り振ることなのかなとか、そういうふうになっていくのかなと思います。

**○委員長（村田春樹君）** 今まで議会報告会やっていたときには、その意見に対して各常任委員会に割り振られて最終的に委員会の中でまとめて執行部のほうに投げてという形をとって、それについてもホームページで公表したりとか、あとは議会の議会だよりみたいな形で載せていたんですけど。そういったこともしっかり今後もやっていきたいと思っておりますので、そんな感じですかね。

谷仲委員。

**○13番（谷仲和雄君）** 前回までの議会報告会のところは、議会の活動を報告するとともに、広く市民の皆さまから意見を拾う。それを今度議会で集約をして、執行部に届けるべきものは届けますというそういう中で、多分ある程度皆さんそこらへんは知っていらっしゃるかと思うのですが、全部意見をまず持ってきますよね。その意見に対してそれを各常任委員会とか特別委員会に全部その意見を振って、今度委員会の中でこれは市に届けるべき内容か、あとはそのいろいろ話し合いをした中で、報告に対してはホームページに掲載しますというやり方になるんですけども、実際のところ中々ホームページとか議会広報紙にもまとめた内容を掲載していますけども、実際ホームページとか議会広報紙載せる以外にも定期的な継続の中で、その前の話についてはこうだったというやり取りの部分が信頼関係のほうに繋がってくるのかなとは思っています。

それで委員長に聞きますけど、今日はどこまで決める会議ですか。決めるところまで決めないと、また日にちばかり経ってしまうので、尚且つこの特別委員会の開催頻度から見ると、ある程度今日はここまで決めないとというところを、そこまではしっかり集約した中で決めていったほうが良いと思います。

**○委員長（村田春樹君）** ありがとうございます。取り敢えず1案、2案出したんですけども、最終的には発表例の部分ありますけども、こういった形で各テーブルでやってもらうような形になると思うので、この発表例の形でいいかどうか、そこまで最後決めたいと思っていたんですけど、これで大丈夫なのかなというところです。そうすればだいたい各テーブルの大きなテーマが見えてくるのかなと。発表例の形としてこういう形でできればワールドカフェ方式としても成り立ってくるのかなと思うので、こんな感じで大丈夫でしたら。

○副委員長（真家 功君） 1案か2案かという意味ですか。

○委員長（村田春樹君） いろいろ改正していきますけど、1案か2案かというところで。常任委員会ごとに分かれてやるか分かれてやらないで皆さんで協力してやるかということにはなってくると思うので。常任委員会という形になった場合には、常任委員会のほうに報告しなければいけない事案になってくるので、こういったところは皆さんにおはかりしたいと思いますが、どうでしょうか。

山崎委員。

○5番（山崎晴生君） 意見交換会のところでだいたい30分ぐらいでターンしていくと思うんですけど、どこまで意見が全部出るかなというところがあって、この前もつくば行ったときなんかは、グループ固定で最後ある程度市のほうに執行部に対しての提案ができるぐらいまでの制度で上がってきていたので、それだったら市のほうに市民からこういう意見があって、こういうふうな対応してほしいというような意見が出ていましたということのできると思うんですけども、30分の中で自己紹介をして皆さんこのテーマについてどうですかねとふったときに、どのぐらいのレベルでその意見が出てくるのかというのが未知数なところではあるので、案外30分意見交換会のところで10分間の自己紹介をして、残り20分で出しましょうというのと、多分そこで出た意見で、公園が少ないという意見が出ましたとか、ここで例で言うと、通学路が危ないですとかいうそういう意見が出ていますというふうなものぐらいしか出ないと思うのです。例えばおみたまっ子応援パッケージではなくて、小美玉市は子育てしやすいまちなのぐらいのテーマで、子育てしやすいまちかみたいなそのぐらいのテーマでいくと、常任委員会ごとに分かれたとしても、常任委員会で子育てに関する所管でやっていることはこういうことですよとつくばみたいに机にこういうことがありますというふうなところでワールドカフェ方式でぐるぐる回っていくのであればそれはそれで1つの方法としていいのかと思うし、中々この時間30分という時間の中で区切ると意見を出してくれる人くれない人、意見ができなかった人いろいろ出てきてしまうと思うので、その辺は気を付けていったほうがいいかなと思うので、でも今までの議会報告会のように、一辺倒にこっちでこういうことやっています、なんか意見ありますかというよりは、このことについてどうですかという市民に投げかけということ自体が今回はじめてだと思うので、それは初年度だからどういうふうになるかというのはやってみないと分からないところもありますが、かたくなにフランクにいけるようなのがいいかと思います。

以上です。

○委員長（村田春樹君） そしたら、こっちで大きなテーマを準備しておくのではなくて、子育てしやすいまちかという形で、あとは中のテーマについては各テーブルで話し合っというものにつくりあげていくかと発表するものを決めてもらってやっていくと言ったほうがやりやすいのかな。

山崎委員。

○5番（山崎晴生君） ある程度題材は決めて。各テーブルで。

○委員長（村田春樹君） 各テーブルで。そういう形で進んでいくような形で発表例はあるかな感じで大丈夫ですか。

戸田委員。

○3番（戸田大我君） 発表例ってなんですか。

○委員長（村田春樹君） テーマ1の2ページ目につくっているこういった形のもので最終的に市民の方に発表してもらおうような形でいいですかね。

それが決まれば今日はだいたいそんな感じで。

あともう1個、前回日にちのほう決めて会場のほうを調べてもらいました。5日、6日どちらもみの～れはバツで、5日、6日のほうがアピオスは大丈夫。美野里公民館は5日、冷房のほう若干あれなのかなというところで、5日、6日のほうが小美玉市役所の第2、第3会議室2階ですね、そこだったらどっちも大丈夫だよということなので、副委員長とも話した中で小美玉市役所の第2、第3会議室のほう使えるのだったら。

○副委員長（真家 功君） 第2、第3政策会議室が使えるんだよね。3つ使えるので、市役所がいいかなと思うのですが。

○委員長（村田春樹君） そのほうが広々と使えるからいいのかというところで。前回取手市のほうに行った際にも、あまり密になり過ぎちゃうと他のグループの話が聞こえてという話もあったので、第2、第3会議室だったら結構広いので、6つ7つぐらいのテーブルでもおそらくそこまでガヤガヤ、聞こえるかもしれないですけど、そっちのほうがいいのかなと思って。美野里公民館だと逆にしゃべるのも響いちゃうかなと思って。そういったところで副委員長のほうと市役所の2階の会議室ということで話たんですけど、皆さんそれで大丈夫ですか。

[「異議なし」の声あり]

○委員長（村田春樹君） では、そういうことで進めていきたいと思います。

そしたら7月5日土曜日、小美玉市役所第2、第3会議室ということで進めていきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

---

◇

## 2. その他

○委員長（村田春樹君） 次に、その他に移ります。

皆さん何かございましたらお願いします。

鬼田委員。

○1番（鬼田岳哉君） 1点をお願い事項で、会議はじまるときに会議録まではいらないんですけど、前回のあらすじじゃないですけど、前回7月5日に決まりましたよねというのと、今日これを決めますというのをお話いただきたい。そうすると話途中で出てきたり混線するので、それが1つお願いというところ。あとは今後のスケジュール7月5日までに何回ぐらい集まるのかなと思って自分も予定入ってきているので、中々難しいところもあるので、いつ頃に何を決めていくというのを教えてください。

○委員長（村田春樹君） スケジュールに関して取り敢えず皆さんにお示しするように、今定例会中に出しますので、よろしくをお願いします。

○委員長（村田春樹君） その他大丈夫ですか。

[「発言する者なし」]

○委員長（村田春樹君） なければ副委員長のほうに渡したいと思います。

○副委員長（真家 功君） それでは以上をもちまして、議会活性化特別委員会を閉会いたします。

ご苦労さまでした。

午後4時10分 閉会